



住吉台中学校区  
学校支援地域本部だより

平成 26 年 9 月 2 日発行  
NO.4



## ★ 住小ソーラン・住吉だい鼓 ★



7月26日(土)、今年も子どもたちの元気な姿で『住吉台ふるさと夏まつり』が始まりました。

初めに4年生以上の有志35名と中学生、先生方の応援による『住小ソーラン』。大きな掛け声と力強い踊りにお祭り気分は一気に盛り上がりました。

続いては住吉だい鼓。今年始めたばかりの3年生、小学校・中学校のALTのダグラス先生を含め、小中学生と高校生、そして地域の大人たちが打ち鳴らす勇壮な太鼓が会場に響き渡りました。

## ★ オオムラサキのためのバザー ★

今年2月の大雪で小学校のオオムラサキハウスが倒壊したのをきっかけに、ハウスの維持や今後の活動に備えて、PTA、オオムラサキ会、コンパス住吉台で『オオムラサキのためのバザー』を開催しました。場所は、『住吉台ふるさと夏まつり』の会場。地域の皆様から寄付していただいた品物の販売と募金の合計は5万円を超えました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



## ★ 3年生 フラワーロード ★

『自分たちが地域にできること、地域を明るくすること』の取組として、6月に小中学校の間の緑道に植えたひまわりが咲きました。隣りには後から植えたホウセンカも咲いています。

3年生は夏休みあけに草取りをしたり、看板を作ったり、この緑道に名前もつけました。名付けて『きらきらぐんぐん元気いっぱいフラワーロード』。皆さんもぜひ、この緑道を歩いてみてくださいね。





## ★ 小学校サマースクールボランティア ★

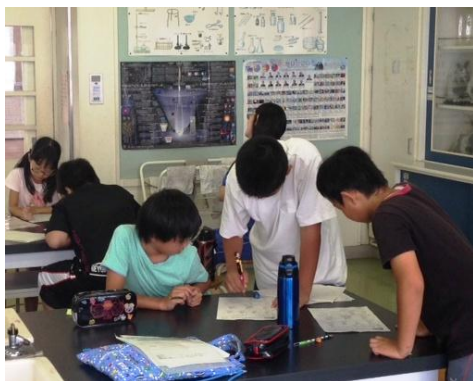


7月23日、24日の2日間、住吉台小学校で行われたサマースクールに、学習支援ボランティアとして中学生が参加しました。

今回は算数のプリントを解く小学生に、わからないところを教えるというボランティアでした。中学生の姿をみて、小学校の先生からも思わず「丁寧に教えてるなあ」という声も聞かれました。

最初はお互いに緊張していたようですが、徐々に慣れてくると、中学生の説明に小学生は真剣に耳を傾けていました。

中学生のアンケートでは「教えるのは大変だったが、教えていた子が解けるようになっていって嬉しかった。」「教えることにやりがいを感じた。」などの感想があり、小学生、中学生共に貴重な体験になったようです。



## ★ 住吉台ふるさと夏まつり ★

7月26日(土)に開催された夏まつりでは、中学生も様々なかたちで参加しました。

小学生と一緒に「住小ソーラン」を踊り、夏まつりのオープニングを飾ったり、自分の町内の販売を手伝い売り上げ貢献したり、積極的に参加して夏祭まつりを盛り上げました。

また翌日朝7時からの会場の後片付けにも多数の中学生が手伝いに参加しました。

テントの片付けや、周辺のごみひろいなど、地域の方々と協力しながら働きました。多くの中学生が手伝ってくれたことで、早朝からの片付けも短時間で終わることができました。

